

第15回ファシリティマネジメント・シンポジウム

「日本のFM：そのはじまりと未来」

1980年代にアメリカで誕生したファシリティマネジメント(FM)の考え方が、日本に伝えられてからすでに四半世紀を超える時間が経過している。その当時は、高度成長時代であり、建築業界では、建築設計等における電算機利用、高度情報化に対応したインテリジェントビル等が主な課題として取り上げられていた時代である。

その後、バブルの崩壊、ネットワークの普及、長引く不況とデフレ、リーマンショック、東日本大震災等を経て、今日では、人口減少と少子高齢化の時代に突入している。その間、FMは、着実に普及して、その対象は、あらゆる施設におよび、適用される手法や技術も多様化している。

本シンポジウムは、日本におけるFMのはじまりとその後の普及定着の経緯を振り返ったうえで、主題をオフィスに絞って、FMの現状と未来を展望するものである。

主催：日本建築学会 情報システム技術委員会 環境情報デザイン小委員会

後援：日本オフィス学会、日本ファシリティマネジメント協会、ニューオフィス推進協会、ビジネスプラットフォーム革新協議会

日時：2015年3月9日(月) 13時00分～17時00分

会場：建築会館ホール(東京都港区芝5-26-30)

定員：100名(申込先着順)

■プログラム■

司会:石曾根栄之(FMシステム) 記録:丸山史夫(清和ビジネス)

主旨説明	本江 正茂(東北大学)		13:00～13:20
基調講演	沖塩 莊一郎(東京理科大学名誉教授)	創世期と未来	13:20～13:50
主題解説	松成 和夫(プロコード)	成長のプロセス	13:50～14:20
	松岡 利昌(名古屋大学)	現状と将来	14:20～14:50
	長坂 将光(日本マイクロソフト)	現状と将来	14:50～15:20
	齋藤 敦子(コクヨ)	現状と将来	15:20～15:50
パネルディスカッション			16:00～16:50
まとめ			16:50～17:00

参加費：(当日会場にてお支払いください。資料代1,500円含む)

日本建築学会会員 2,000円、後援団体 2,500円、会員外 3,000円、学生 1,500円

申込方法：WEB申込み(下記URLよりお申し込みください)

▶ <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1066>

問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ

伏見 fushimi@aij.or.jp